

平成29事業年度

# 決算報告書

国立大学法人福井大学

## 平成29年度 決算報告書

国立大学法人福井大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	9,663	9,905	242	(注1)
施設整備費補助金	362	332	△ 30	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
施設整備資金貸付金償還時補助金	-	-	-	
補助金等収入	251	390	139	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	30	30	-	
自己収入	19,371	21,445	2,074	
授業料、入学金及び検定料収入	3,153	2,838	△ 315	(注4)
附属病院収入	15,884	18,215	2,331	(注5)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	334	392	58	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,717	1,722	5	(注7)
引当金取崩	216	201	△ 15	(注8)
長期借入金収入	1,917	1,904	△ 13	(注9)
貸付回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	-	-	-	
計	33,527	35,929	2,402	
支出				
業務費	28,285	29,513	1,228	
教育研究経費	13,154	12,759	△ 395	(注10)
診療経費	15,131	16,754	1,623	(注11)
施設整備費	2,309	2,266	△ 43	(注12)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	251	390	139	(注13)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,717	1,739	22	(注14)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	965	942	△ 23	(注15)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	-	-	-	
計	33,527	34,850	1,323	
収入-支出	-	1,079	1,079	

## ○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金の差額242百万円は、前年度からの繰越額と追加配分額(退職手当)となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算段階で予定していた事業の計画変更等により、予算額に比して決算額が30百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった補助金が採択されたため、予算額に比して決算額が139百万円多額となっています。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、主として授業料の減免により、予算額に比して決算額が315百万円少額となっています。
- (注5) 附属病院収入については、入院診療単価が向上したこと、外来での診療単価が向上したこと及び延患者数が増加したことにより、予算額に比して決算額が2,331百万円多額となっています。
- (注6) 雑収入については、主として予算段階では予定していない損害保険金と違約金の受取り等により、予算額に比して決算額が58百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究等の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が5百万円多額となっています。
- (注8) 引当金取崩については、予算段階で予定していた退職者数よりも実際の退職者数が少なかったため、予算金額に比して決算金額が15百万円少額となっています。
- (注9) 長期借入金収入については、事業の計画変更等により、予算額に比して決算額が13百万円少額となっています。
- (注10) 教育研究経費については、(注4)に示した理由等により、予算額に比して決算額が395百万円少額となっています。
- (注11) 診療経費については、附属病院の増収に係る薬品等の診療費用の増大等により、予算額に比して決算額が1,623百万円多額となっています。
- (注12) 施設整備費については、(注2)および(注9)に示した理由により、予算額に比して決算額が43百万円少額となっています。
- (注13) 補助金等については、(注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が139百万円多額となっています。
- (注14) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、産学連携等研究経費等の執行計画の見直しにより、予算金額に比して22百万円多額となっています。
- (注15) 長期借入金償還金については、金利の見直しにより、予算金額に比して決算金額が23百万円少額となっています。